

## 【OIE 情報】米国における牛海綿状脳症（BSE）の発生について

米国における牛海綿状脳症（BSE）（非定型、L型）の発生について、OIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

なお、米国から輸入される牛肉等については、食品安全委員会によるリスク評価結果を踏まえ、条件を設定しています。

また、米国が獲得している「無視できるBSEリスク」ステータスに変更はありません。

出典：OIEウェブサイト（2017年7月19付け）

[http://www.oie.int/wahis\\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=24348](http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=24348)

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

### 【概要】

- ・発生数：1件（緊急報告・終報）
- ・発生日：2017年7月5日
- ・OIEへの報告日：2017年7月19日

### 【発生状況】

- ・アラバマ州 ペリー郡の市場

【動物種】	【感受性動物数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	1	1	1	0	0

※11歳齢の肉用牛

### 【疫学情報】

- ・感染源：不明または調査中、突然変異
- ・米国のBSEサーベイランスプログラムにおいて、11歳齢の肉用雌牛で非定型L型のBSEが確認された。
- ・米国の牛におけるBSE症例は全て非定型BSEであり、今回の症例は20年以上のサーベイランスを行ってきた中で特定されたわずか4例目の非定型BSEである。
- ・前回の発生は2012年であった。
- ・当該動物はいかなる食料流通経路にも入らず、人の健康に危険をもたらすことはなかった。
- ・特定危険部位の除去及び飼料規制は引き続き適用されている。

### 【対応】

- ・スクリーニング
- ・トレーサビリティ
- ・死体、副産物及び廃棄物の公的処分
- ・ワクチン接種禁止

- ・ 患畜を治療対象としない

【診断】

- ・ 診断施設：国立獣医研究所
- ・ 診断方法：ELISA：陽性（2017年7月15日）  
ウエスタンブロット：陽性（2017年7月16日）

【参考】発生地図



米国 アラバマ州  
2017年7月5日  
牛海綿状脳症（非定型、L型）  
牛1件